つめかえインク取扱説明書（ボール栓落とし方式）

INK-C7○C・C9○Cシリーズ共通

必ず本取扱説明書を読んで、正しく作業を行ってください。

eco・INK

対応インクタンク

キヤノン　BCI-9BK　7eBK　7eC　7eM　7eY　7ePC　7ePM

対応プリンタ

PIXUS　iP4500　iP3500　iP4300　iP3300　iP6700D　iP7500　iP6600D　iP5200R　iX5000　iP4200　iPro9000　iP9910　iP8600　iP8100　iP7100　iP6100D　iP4100　iP4100R　iP3100　MP970　MP610　MP520　MX850　MP960　MP600　MP810　MP510　MP950　MP830　MP800　MP500　MP900　MP790　MP770

セット内容（数量はパッケージをご覧ください。）

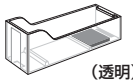
①インクボトル

※ブラック　100ml×2本
※カラー　100ml×1本

②ボール栓落とし治具

（透明）

③つめかえホルダー



（透明）

④プラグ

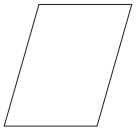
（黒ゴム）

⑤注入器

⑥注入パイプ

⑦ポリ手袋

⑧取扱説明書



インク成分

・ブラック…［蒸留水］70%～80%・［グリコール・イソプロピルアルコールなど］1%～10%・［染料］1%～15%
・シアン…［蒸留水］70%～80%・［グリコール・イソプロピルアルコールなど］1%～10%・［染料］1%～15%
・マゼンタ…［蒸留水］60%～70%・［グリコール・イソプロピルアルコールなど］1%～15%・［染料］15%～25%
・イエロー…［蒸留水］70%～80%・［グリコール・イソプロピルアルコールなど］1%～10%・［染料］1%～15%
・ブラック（顔料）…［蒸留水］50%～60%・［グリコール］20%～30%・［その他顔料など］5%～10%
・フォトシアン…［蒸留水］70%～80%・［グリコール・イソプロピルアルコールなど］10%～15%・［染料］1%～10%
・フォトマゼンタ…［蒸留水］70%～80%・［グリコール・イソプロピルアルコールなど］15%～25%・［染料］1%～5%

○注意事項

●つめかえをする前に、必ず取扱説明書を読んで正しく作業を行ってください。不完全なつめかえや説明内容と違った使い方をすると、インク漏れとなりプリンタに損傷を与える場合があります。
●他社製つめかえインクと混合・併用、再生・互換品のインクタンクにつめかえて使用すると、印字不良やインクタンク不具合となる恐れがあり、これらの原因でトラブルとなった場合はユーザーサポート及びいかなる責任も負いません。
●BCI-9BK、BCI-7eシリーズのICチップ付インクタンクは、インクをつめかえてもチップエラーなどが発生した場合は使用ができなくなります。つめかえたこととインクタンクのICチップエラーは関連がありませんので、商品補償などの責はご容赦くださるようお願います。

○使用上の注意と保管について

●本製品のインクは身体や衣類に付着するとすぐには消えません。ご使用に際しては、不用意にインクボトルを強く握ったり、逆さまに持ったりしないようにしてください。インクが噴き出したり、こぼれ落ちたりします。
●子供の手の届く所に置かないでください。
●飲むことはできません。誤って飲んでしまった場合には、医者の診断を受けてください。
●目に入ってしまった場合には、すぐに水で洗い流してください。
●インクは開封後1年以内にご使用ください。
●つめかえした後の残ったインクは、ゴムキャップをしっかりして、直射日光や高温多湿の場所を避け、涼しい所で保管してください。インクの漏れを防ぐためにインクボトルは立てて保管してください。

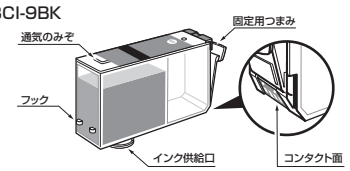
○製品について

●本製品のインクは弊社製インクを使用しており、純正インクの印刷色合いとは差異が生じる場合があります。
●本製品はキヤノン（株）とは無関係で、承認を受けたものではありません。
●製品上の原因による品質不具合が認められたました場合は、同数の新しい製品と取替えいたします。それ以外の責はご容赦くださるようお願いします。

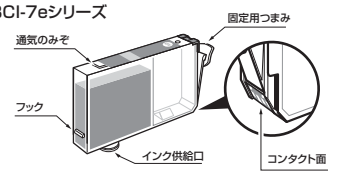
各部の名称

インクタンク

●BCI-9BK

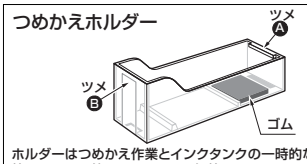


●BCI-7eシリーズ



※純正カートリッジに貼ってあるシールは絶対にはがさないでください。

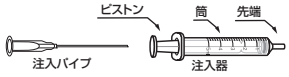
つめかえホルダー



ホルダーはつめかえ作業とインクタンクの一時的な保管用としてお使いになれます。保管についてはつめかえ手順⑨の「ホルダーを保管用として使う方法とお願い」を参照してください。

注入器・注入パイプ

○安全上の注意
注入パイプは金属製です。使用の際にはご使用者本人及び周囲へのケガ、事故など身体の安全に注意してください。使用後はパッケージ（箱）に入れ小児・幼児の手の届かないとこにで保管してください。



つめかえの前に必ずお読みください

次のキヤノンプリンタでインクをつめかえてご使用になる時の注意
PIXUS　iP4500　iP4300　iP3500　iP3300　iP6700D　iP4200　iP7500　iP6600D　iP5200R　iX5000　Pro9000
MP970　MP610　MP520　MP960　MP600　MP810　MP510　MP500　MP800　MP950
MP830※　MX850※（※下記を参照してください）

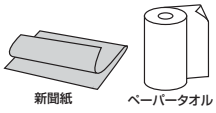
上記のBCI-9BKおよびBCI-7eインクタンク専用プリンタでつめかえインクタンクを使って印刷するには、プリンタの「インク残量検知機能を無効にする」という操作が必要です。
本取扱説明書のつめかえ手順のあとの『印刷続行操作とインク残量検知機能の無効操作』を参考に行えばインク残量は表示されませんが、印刷は通常通り行えます。

※ファクス機能付き複合機PIXUS　MP830　MX850でつめかえインクを使用する場合つめかえたインクタンクをプリンタに戻し印刷作業を行うと「インクが少なくなっています ! 」
「インクがなくなりました ⊗ 」のメッセージが表示され、プリンタ操作パネルの OK ボタンを押すと通常の印刷は可能となります。
ただし、この表示がされている時ファクス受信機能は代行受信となりメモリに保存されますので手動で保存されているファクスを印刷してください。（手動印刷の方法はプリンタの取扱説明書に従ってください）
残量検知機能を無効にした後からは受信設定通りに受信した後にファクスが印刷されます。

※この操作による表示解除はつめかえて使用したインクタンクだけであり、新品インクタンクを取り付けた後は、残量検知機能と残量表示は有効に戻ります。
※インクをつめかえたインクタンクやそれを使用したプリンタは、メーカーよっては不正改造にあたるとみなされる場合があります。使用中にトラブルが発生した時、不明点、ご質問、ご相談はまず弊社にご連絡ください。
※インクタンクのコンタクト面を汚したり、触れたりしないようにしてください。

準　備

つめかえの時にインクがこぼれて周辺が汚れることがあります。あらかじめ新聞紙やペーパータオルを用意し、その上で作業してください。



使用するインクタンク

純正インクタンクにつめかえてください。
以下のものは対応していませんので、使用しないでください。
■再生品インクタンク
■互換品インクタンク
■他社つめかえインク使用品

つめかえ回数（推奨限度回数）

つめかえによるインクタンク再使用は3～4回までが適当です。それ以上のつめかえはインク供給に不都合を生じ、正常な印字ができなくなる場合があります。

つめかえ作業

本書に記載されていること以外は行わないでください。印刷不良や思わぬ事故の原因となる場合があります。

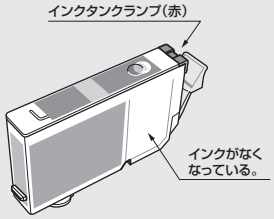
! つめかえのタイミング（インクタンクに初めてつめかえする）

初めてインクタンクにつめかえをするタイミングは、パソコンや液晶モニターに「インク切れ〔×〕」のマークが表示され、インクタンクのインクランプ（赤色）が点滅し、実際にインクが無くなった時に行ってください。

※インク残量表示が「インクが少なくなっています〔!〕」の場合でもつめかえられますが、印刷を続けると〔×〕となります。また、インクの残り量が多いとインクが漏れて作業が出来ない場合があります。

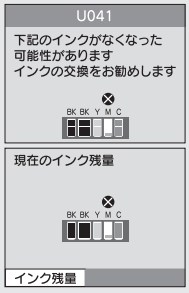
下記のプリンタではインクランプ（赤色）の点滅はありません。
iP9910/iP8600/iP8100/iP7100/iP6100/iP4100/iP4100R
MP900/MP790/MP770

［インクタンクの状態］



［パソコンモニター］の表示

［液晶モニター］の表示

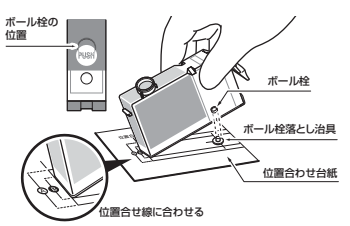


つめかえの手順

1 インクタンクにインク注入口をあける

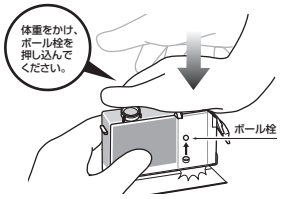
インクタンクの図で示すところにボール栓があります。注入口はこのボール栓を落として穴をあけます。

1.下記のボール栓落とし位置あわせ図の の上にボール栓落とし治具(②)を両面テープやセロハンテープなどで固定してください。
インクタンクを右のイラストのように持ち、角を位置あわせ線に合わせるとボール栓とボール栓落とし治具が合います。

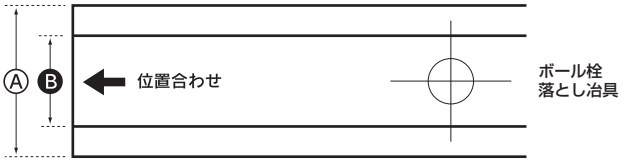


2.ボール栓とボール栓落とし治具が合っているのを確認したら、体重をかけて上から押し込むように力を加えてボール栓を中に押し込みます。

※インクタンクの中にボール栓が残りますが、インクの流れに支障はありません。



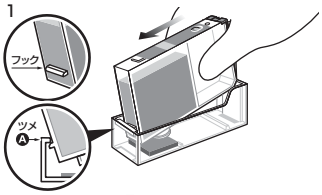
ボール栓落とし位置あわせ図



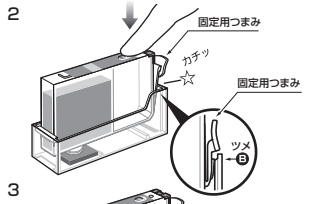
カートリッジサイズ/ Ⓐ BCI-9BK　Ⓑ BCI-7eBK／C／M／Y／PC／PM

2 インクタンクをホルダーに固定する

1.インクタンクの図で示す所にフックがあります。
フックをつめかえホルダー(③)のツメAの下に差し込むように入れます。

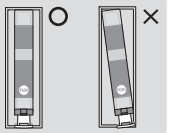


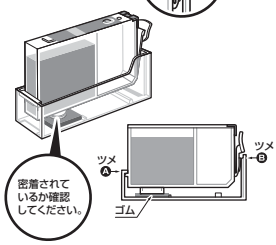
2.インクタンクの PUSH 部分を押して、固定用つまみがツメBに「カチッ」という音がするまで押し込んで固定してください。



3.インクタンクのインク供給口がホルダー底側のゴムに全体に密着していることを確認してください。

⚠注意
カラーインクタンクは斜めに固定されないようにしてください。

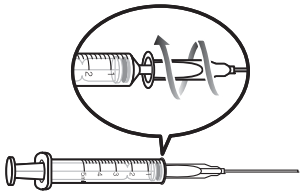




3 注入器に注入パイプをつける

注入パイプを注入器先端に差し込み、強くねじ込んでください。

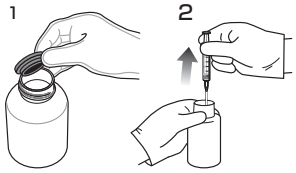
⚠注意
ねじ込み方が弱いと注入中にインクが漏れたり、パイプが外れたりして、インクが飛び散る場合があります。



4 注入器にインクを移し替える

1.インクボトルのキャップを取り、手袋を着用してボトルの口のゴムキャップを外してください。
2.ボトルからインクを注入器に移し替えます。

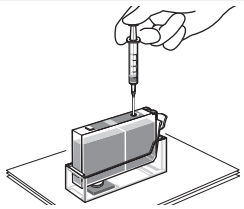
⚠注意
※注入器の最大容量は5mlですので、何回か注入する量に応じて移し替えてください。
※つめかえがすんだら、外したゴムキャップを元に戻して、キャップをしっかり締めてください。



5 インクを注入する

ボール栓落とし治具で開けた注入口に注入パイプの先端を1cm以上差し込み、ピストンをゆっくりと押しながらインクを注入してください。インクはスポンジと同じくらいの高さまで注入してください。

○インクの注入量の目安
BCI-9BKの場合…約15～20ml
その他のインクタンクの場合…約7～10ml

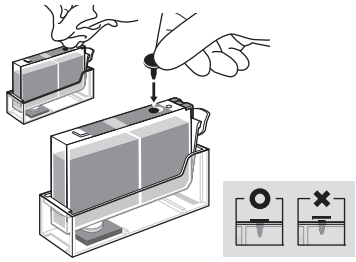


※上記の注入量はインクを使い切ったときの推定量で、お使いの状況やつめかえをするタイミングにより変わります。
※ノズルの根元で注入口をふさがないよう、空気の抜ける隙間を確保しておいてください。隙間を確保せずにインクを入れると空気に押し出されて供給口や通気のみぞからインクが漏れてきます。また、注入時は漏れなくてもホルダーから外した後、インクがあふれる可能性があります。通気のみぞからインクが漏れてくると、プリンタにセットした時にインクが出ない場合があります。

6 注入口にプラグを差し込む

注入口からこぼれて付着したインクをティッシュペーパーなどで拭き取ります。付属のプラグ(④)を注入口に差し込み、インクが漏れないようにしっかりと栓をします。

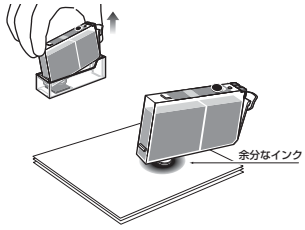
⚠注意
注入口にプラグがしっかり差し込まれていないと、インクが供給口から流れ出して止まらない場合があります。しっかりとプラグを差し込んでください。



7 インクタンクをホルダーから外し、余分なインクを除く

インクタンクは固定用つまみを押すとホルダーから外れます。
ペーパータオルなどの上に10～20秒置いて余分なインクを除いてください。その後、インク供給口からインクが出てこないことを確かめてからプリンタにセットしてください。

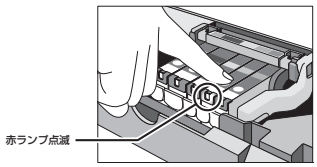
⚠注意
インクがこぼれた状態でインクタンクをプリンタに装着しないでください。



8 つめかえたインクタンクをプリンタにセットする

インクタンクの特性上インク残量の記録と表示は復元されないため、インクが入っているインクタンクをプリンタに取り付けても「点灯」とならず、インクランプ(赤色)は「点滅」状態となります。
この状態でプリンタのふたを閉め、プリンタ本体のエラーランプ(オレンジ色)が点滅(点灯)しなければ、印刷が可能です。

インクタンクを取り付けてもプリンタが停止して、エラーランプ(オレンジ色)が点滅(4回または13回)している、液晶モニターにエラー番号(U041またはU130)が表示されている場合は、次の「印刷続行とインク残量検知機能無効の操作方法について」の手順で対処してください。エラーが解除され、印刷が可能となります。



※上記以外の点滅回数やエラー番号が表示され、インクランプ(赤色)が消えている場合は、他のエラーが予想されます。トラブルシューティングを参照してください。
※下記のプリンタは、元々インクランプ(赤色)が光らない仕様なので、すぐ印刷が可能です。
iP9910/iP8600/iP8100/iP7100/iP6100/iP4100/iP4100R/MP900/MP790/MP770

9 印刷続行とインク残量検知機能の無効操作方法について

つめかえたインクタンクはインクタンクの特性上、使用中にエラー表示され停止しますが、印刷の続行とインク残量検知機能を無効にする操作(ボタン押し)をすれば解除され、印刷可能となります。
プリンタ本体のエラーランプ(オレンジ色)が点滅(4回または13回)している、液晶モニターにエラー番号(U041またはU130)が表示されて停止した時に、表のプリンタに対応した説明内容に従いボタン操作の対処をしてください。エラーが解除され、印刷が可能となります。

MP970/MP610/MP520/MX850(※1) MP960/MP600/ MP510/MP810	MPシリーズ説明②へ
iP4500/ iP4300/iP3500 /iP3300	iPシリーズ説明②へ
MP500/ P950/MP830(※1)/MP800	MPシリーズ説明①へ
iP4200/iP7500/iP6600D/iP5200R/ iX5000/Pro9000/ iP6700D	iPシリーズ説明①へ
iP9910/iP8600/iP8100/iP7100/iP6100/ iP4100/iP4100R/MP900/MP790/MP770	操作は不要。

(※1)ファクシミリの受信印刷について注意事項を参照ください。

※印刷の続行操作をしても残量表示の〔!〕や〔×〕のマークは消えませんが、印刷は可能となります。
※インク残量検知機能の無効操作のあとは残量表示されませんので、インクタンクのインク量に注意してください。
※インクタンクを新しいもの、または、別のものに交換すれば、そのインクタンクのインク残量が表示されます。

裏面へつづく⇒⇒⇒

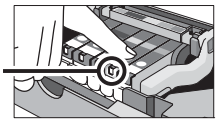
MPシリーズ説明①

MP500・MP950・MP830・MP800

基本的にプリンタ本体の液晶モニターの表示を見て、
プリンタ本体のボタンを操作します。

❶つめかえたインクタンクをプリンタに取り付ける

つめかえたインクタンクを取り付けても、赤ランプは点滅したままです。
(インク残量検知機能を無効にするまでは、点滅状態が続きます。)



❷つめかえた後の印刷続行

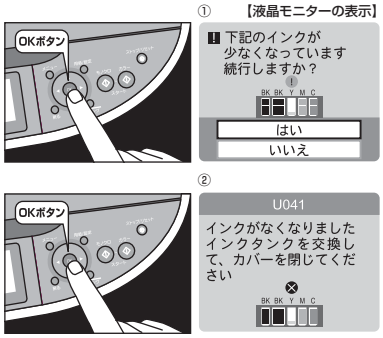
①つめかえ後にカートリッジをプリンタに戻し、液晶モニターにこの表示が出たら［はい］を選択し、プリンタ操作パネルのOKボタンを押せば、印刷が可能となります。

※つめかえ後は、つめかえた実際のインク量と液晶モニターの表示は異なります。インクが無くならないように、早めにインク残量を確認して少なくなったら次のつめかえを行ってください。

②印刷中または印刷開始前にインクがなくなった表示(U041)が出てエラーランプが点灯した場合は、プリンタ操作パネルのOKボタンを押してください。

①の表示に戻り、印刷が続行または開始されます。

①から②の状況は3回ほど繰り返されます。その後、❸インク残量検知機能エラーが表示されます。



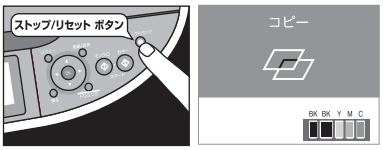
❸インク残量検知機能エラーの表示(U130)

印刷が可能となった後に、液晶モニターに右のようなメッセージ表示とU130のエラー表示が出てエラーランプが点灯したら、次の「❹インク残量検知機能を無効にする操作」を行ってください。

※ファクス付き複合機MP830はこの続行操作の間は代行受信となります。下記の「❹インク残量検知機能を無効にする操作」のあとから受信設定通りに受信したあとに用紙へ印刷されます。

❹インク残量検知機能を無効にする操作

①ストップ/リセットボタンを5秒以上押し続けてください。
②自動的にエラーランプが消え、表示されたインクタンクのインク残量検知機能が無効となります。
③操作を行ったインクタンクの残量が表示されなくなります。



※キヤノンMP500でBCI-7eYを使用時の操作例です。

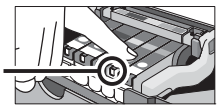
MPシリーズ説明②

MP970・MP960・MP610・MP600・MP810・MP520・MP510・MX850

基本的にプリンタ本体の液晶モニターの表示を見て、
プリンタ本体のボタンを操作します。

❶つめかえたインクタンクをプリンタに取り付ける

つめかえたインクタンクを取り付けても、赤ランプは点滅したままです。
(インク残量検知機能を無効にするまでは、点滅状態が続きます。)

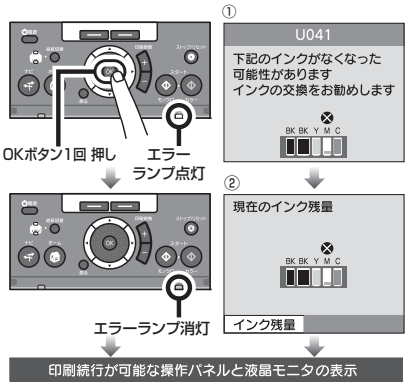


❷つめかえた後の印刷続行

つめかえたインクタンクをプリンタに取り付けた後、操作パネルのエラーランプが点灯していて、液晶モニター表示が(①)のインクがなくなった時と変わっていない場合は、操作パネルのOKボタンを1回押してください。エラーランプが消え、液晶モニターが②の表示となり印刷続行が可能となります。

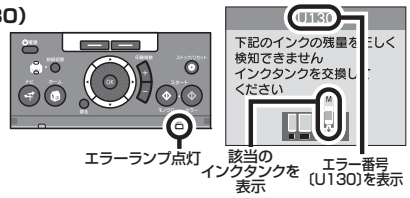
※①の液晶モニターには(×)が表示されたままですが、OKボタンの操作によりエラーが解消されたので、印刷が続行できます。

※はじめから操作パネルのエラーランプが消えていて、液晶モニター表示も①となっている場合はボタン操作の必要はありません。



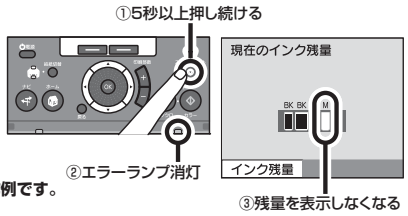
❸インク残量検知機能エラーの表示(U130)

印刷続行が可能となった後に、液晶モニターに右のようなメッセージとエラーが表示され、操作パネルのエラーランプが点灯していましたら、次の「❹インク残量検知機能を無効にする操作」を行ってください。



❹インク残量検知機能を無効にする操作

①ストップ/リセットボタンを5秒以上押し続けてください。
②自動的にエラーランプが消え、表示されたインクタンクのインク残量検知機能が無効となります。
③操作を行ったインクタンクの残量が表示されなくなります。



※キヤノンMP600でBCI-7eMを使用時の操作例です。

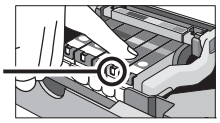
iPシリーズ説明①

iP4200・iP7500・iP6600D・iP5200R・iX5000・Pro9000

基本的にパソコン画面のエラーメッセージ表示とステータスモニターの表示を見て、
プリンタ本体のボタンを操作します。

❶つめかえたインクタンクをプリンタに取り付ける

つめかえたインクタンクを取り付けても、赤ランプは点滅したままです。
(インク残量検知機能を無効にするまでは、点滅状態が続きます。)



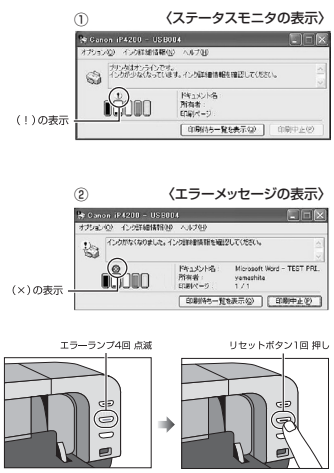
❷つめかえた後の印刷続行

①インクをつめかえたカートリッジをプリンタに戻すと、ステータスモニターのカートリッジ表示が(!)マークとなり、印刷が続行できるようになります。

②印刷中または印刷開始前にプリンタが停止し、操作パネルのエラーランプが4回点滅していて、ステータスモニターのカートリッジの表示が(×)マークとなりましたら、リセットボタンを1回押してください。

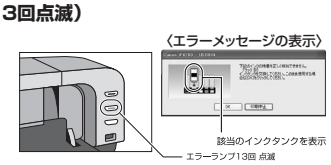
①の表示に戻り、印刷が続行または開始されます。

①から②の状況は3回ほど繰り返されます。その後、❸インク残量検知機能エラーが表示されます。



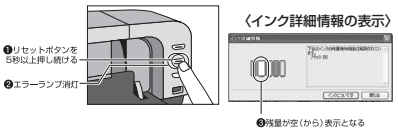
❸インク残量検知機能エラーの表示(エラーランプ13回点滅)

印刷続行の操作後にプリンタが停止し、パソコンの画面にエラーメッセージが表示され、操作パネルのエラーランプが13回点滅しましたら、次の「❹インク残量検知機能を無効にする操作」を行ってください。



❹インク残量検知機能を無効にする操作

①リセットボタンを5秒以上押し続けてください。
②自動的にエラーランプが消え、表示されたインクタンクのインク残量検知機能が無効となります。
③操作を行ったインクタンクの残量が表示されなくなります。



※キヤノンiP4200でBCI-9BKを使用時の操作例です。

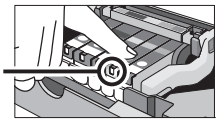
iPシリーズ説明②

iP4500・iP4300・iP3500・iP3300

基本的にパソコン画面のエラーメッセージ表示とステータスモニターの表示を見て、
プリンタ本体のボタンを操作します。

❶つめかえたインクタンクをプリンタに取り付ける

つめかえたインクタンクを取り付けても、赤ランプは点滅したままです。
(インク残量検知機能を無効にするまでは、点滅状態が続きます。)

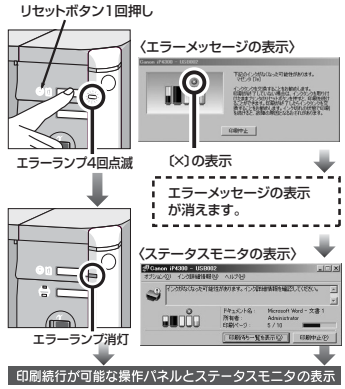


❷つめかえた後の印刷続行

つめかえたインクタンクをプリンタに取り付けた後、操作パネルのエラーランプが4回点滅していて、エラーメッセージの表示も変わっていない場合は、操作パネルのリセットボタンを1回押してください。
エラーランプが消え、パソコンの画面にはエラーメッセージの表示が消え、ステータスモニターの表示のみとなり、印刷続行が可能となります。

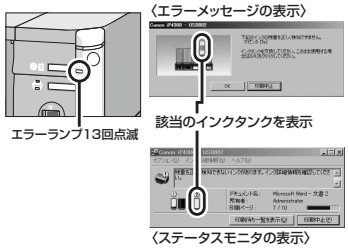
※はじめから操作パネルのエラーランプが消えていて、エラーメッセージが現れない場合はボタン操作の必要はありません。

※印刷中のステータスモニターには(×)が表示されたままとなりますが、リセットボタンを操作したことによりエラーが解消されたので、印刷が続行できます。



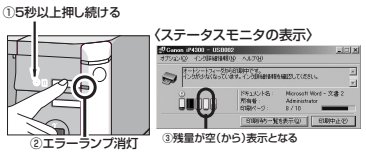
❸インク残量検知機能エラーの表示(エラーランプ13回点滅)

印刷続行の操作後にプリンタが停止し、パソコンの画面にエラーメッセージとステータスモニターが表示され、操作パネルのエラーランプが13回点滅しましたら、次の「❹インク残量検知機能を無効にする操作」を行ってください。



❹インク残量検知機能を無効にする操作

①リセットボタンを5秒以上押し続けてください。
②自動的にエラーランプが消え、表示されたインクタンクのインク残量検知機能が無効となります。
③操作を行ったインクタンクの残量が表示されなくなります。



※ キヤノンiP4300 でBCI-7eM インクタンクを使用時の操作例です。

10 クリーニングと印字テスト

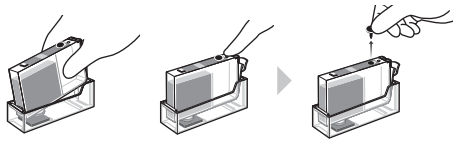
インクタンクをプリンタに取り付け、最初にクリーニングを1回行いノズルチェックパターン印刷またはテスト印字をしてください。プリントがよくない場合はもう一度クリーニングとテストを行ってください。
クリーニングとテスト方法はプリンタの取扱説明書を参照してください。
※クリーニングの繰り返しはインクタンクの寿命が短くなります。3回までのクリーニングで正常にプリントされない場合はトラブルシューティングを参照してください。

●つめかえ回数

つめかえによるインクタンクの再使用は3〜4回までが適当です。
それ以上のつめかえはインク供給に不都合を生じ、正常な印字が出来なくなる場合があります。その際はつめかえたインクタンクの使用を止めて、新しいインクタンクをお使いになることをお勧めします。

●2回目からは・・・・・・

インクタンクをホルダーに取り付けてプラグを外し、③〜⑦の手順でつめかえを行ってください。



手順③へ

●つめかえが終わったら

○つめかえた後の残ったインクはキャップをしっかりと閉め、直射日光の当たるところ及び高温多湿の場所は避け涼しいところに立てて保管してください。
○ホルダーは付着したインクを水で洗い流して、水分をふき取ってからパッケージに入れて保管してください。

●ホルダーを保管用として使う方法とお願い

○保管方法　インクタンクをホルダーに取り付けます（手順②参照）。
さらに空気の通路に接着テープを貼りつけて、インクタンクを密閉状態にして保管してください。
※インク供給口全体がホルダーのゴムに密着していなかったり、外れていたりするとインクの漏れや乾燥の原因となり、保管効果がなくなりますので注意してください。

○お願い　長期間の保管用ではありません。インクタンクはホルダーをしていても、長期間使用されていないと自然にインクの乾燥や供給口の目詰まりを起こす場合があります。保管中は定期的（10日に1度程度）にインクタンクをお使いになり、印刷ができるか確認することをお勧めします。

トラブルシューティングQ&A

クリーニングの繰り返しはつめかえたインクや他のインクの消費を早め、通常動作に戻るまで時間がかかってしまいますので、下記のトラブルシューティングを参照してください。
以下の状態のインクタンクでつめかえをした場合はサポート対象外となりますので、お確かめの上お使いください。
1.再生インクタンク、互換品インクタンク、他社つめかえインクと混合、併用などしている場合。（純正新品使用後のインクタンク対応です）　2.つめかえ回数が取扱説明に記載の推奨限度回数を超えて不具合となったもの。
3.他社つめかえインクや治具・道具を使用したあとのインクタンク。　4.インクがなくなって長い間放置（使用しない）されていて、つめかえ不能なインクタンク

	症状	確認事項	処　置
インクタンクのインクランプ（赤色）について	取り付けたら点滅して点灯にならない。	つめかえ後は点灯となりません。	インクタンクの特性上、インク残量の記録と表示は復元されないため、インクが入っていてもランプは点灯とならず点滅となります。プリンタのフタを閉めて、プリンタにエラーランプ（オレンジ色）が点滅（点灯）していなければ印刷が可能です。オレンジランプが点滅（点灯）している場合は、印刷の続行やインク残量検知機能の無効操作をしてください。
つめかえ作業中	インクの漏れが止まらない。	他社のつめかえを先に行っていませんか。	他社のつめかえインクには対応していません。つめかえ方法や治具の形状が違いますので、回復出来ない場合があります。印刷不良や思わぬ事故などの原因となります。必ず純正品からつめかえて、本書に記載されていること以外は行わないでください。
	注入中にインクが漏れてくる。	つめかえホルダーの取り付け方を確認してください。	取り付け方が不完全ではないですか（浮いたり傾いたりしていませんか。）インク供給口全周がホルダーのゴムに密着していなかったり、外れていたりするとインクの漏れや乾燥の原因となります。まっすぐカチッと音がするまで付け直してください。
	プラグをした後にインクが漏れている。	他社のつめかえを先に行っていませんか。	プラグが注入口に合わないことがあり、回復出来ない場合があります。印刷不良や思わぬ事故などの原因となります。必ず本品の方法と付属品でつめかえてください。本書に記載されていること以外は行わないでください。
		プラグの差し込み方を確認してください。	プラグの差し込み方が不完全ではないでしょうか。インクタンクをホルダーに付け、差し込み直してください。
			余分なインクが残っているか入れ過ぎの可能性があります。インクタンクをペーパータオルなどの上に置き、インク漏れが止まってから使用してください。
		上記以外の場合は、つめかえインクサポートセンターへ連絡をお願いします。（TEL:0120-968-268）	
印刷の時	つめかえた色のインクが出ない。印刷にかすれやスジが入る。または、途中で途切れる。	つめかえ回数が推奨限度回数をオーバーしていませんか。	推奨限度は3−4回までです。つめかえ回数が多くなるとインクタンクのフェルトの中に空気の泡が多くなり、インクの流れが悪くなり、かすれや途切れやすくなります。新しいインクタンクへの交換をお勧めします。
		インクが漏れていませんか。	インクの漏れはノズルへのインク供給過多となり印刷ができません。プラグの差し込み方が悪くて空気が入って漏れる、余分なインクが残っていて漏れるなどの可能性があります。それぞれ確認と修正をしてください。
		純正品以外のインクタンクを使用していませんか。	再生インクタンク、互換インクタンクには対応していません。これらの品へのつめかえはインク成分が違うため、インク漏れや印字不良となる可能性があります。純正品インクタンクにつめかえてください。
		他社のつめかえを先に行っていませんか。	他社のつめかえインクには対応していません。混合した場合、インク成分が違うためインク漏れや印字不良となり、かすれや出なくなるおそれがあります。
	色合いがおかしい。	ノズルチェック印刷をしてください。	全部のインクが出ているか確認してください。 出ていないインクの色があると、色合いが変わります。上記の「インクが出ない」項目を確認してください。 インクは弊社オリジナルインクを使用しており、同等の色合いとなるよう調整されていますが、若干の色の差異が生じる場合があります。
		（カラーインク） インクタンクの色とつめかえた色とが合っていましたか。	シアンとフォトシアン、マゼンタとフォトマゼンタなど、よく似た色をつめかえてしまう場合があります。このような場合はいったんインクを全部抜いて、本来の色のインクを入れ直し正常な色になるまで印刷する必要があります。
		（黒インク） 2個の黒インクがある場合、入れ違いはありませんか。	BCI−7eBKは染料系の黒、BCI−9BKは顔料系の黒です。種類が違いますので色合いも違い、互換性はありませんので入れ違えた場合は回復出来ません。印刷不良や思わぬ事故などの原因となりますので使用をやめてください。
		他社のつめかえを先に行っていませんか。	他社のつめかえインクには対応していません。混合または併用した場合、色が変わる恐れがあります。
		用紙のインクが乾いていますか。	用紙により差がありますが、インクは印刷してから乾くまで時間がかかり、その間、色合いは変化して行きます。少なくとも30分以上経過してから確認してください。
		用紙や設定が変わっていませんか。	用紙が変わると色合いが違って印刷されます。同じ用紙と設定にしてください。
		上記以外の場合は、つめかえインクサポートセンターへ連絡をお願いします。（TEL:0120-968-268）	
ホルダー	ホルダーに付けていたらインクが漏れて来た。	つめかえホルダーの取り付け方を確認してください。	取り付け方が不完全ではないですか（浮いたり傾いたりしていませんか。）インク供給口全周がホルダーのゴムに密着していなかったり、外れていたりするとインクの漏れや乾燥の原因となります。まっすぐカチッと音がするまで付け直してください。
	長い間保管していたらインクが漏れてきた。	長期間の保管用ではありません。	インクタンクはホルダーをしていても、長期間使用されていないと、自然にインクの乾燥や供給口の目詰まりを起こす場合があります。保管中は定期的（10日に1度程度）にインクタンクをお使いになり、印刷ができるか確認することをお勧めします。
印刷の続行と残量検知機能解除操作について	残量検知機能解除操作が必要なプリンタかどうかわからない。	インクタンクのインクランプ（赤色）が光るプリンタか確認してください。	BCI-9BKまたはBCI-7eシリーズのインクタンクを取り付けて、インクランプが赤く光るプリンタは残量検知機能の無効操作が必要です。光らないプリンタは操作の必要がなく、そのままつめかえたインクタンクで印刷できます。
	残量検知機能解除の画面表示が現れない。	解除の画面表示は、すぐ現れない場合もあります。	それまでは、つめかえたインクタンクをプリンタに取り付けて通常通り印刷が実行されれば、継続して使用できます。
インクタンクエラーの表示	プリンタ本体のエラーランプが点滅（点灯）して、プリンタ液晶画面やパソコンモニターにインクタンクのエラーが表示される。	プリンタのエラーランプの点滅回数、または液晶画面のエラー番号を確認してください。	点滅回数（エラー番号）が7回（U071）、14回（U140）、15回（U150）の場合は、該当するインクタンクのICチップエラーなどによる認識エラーです。プリンタの取扱説明書またはサポート情報を参照して対処してください。 インクをつめかえたこととは関係ありません。
その他のエラー表示	プリンタ本体のエラーランプが点滅（点灯）して、プリンタ液晶画面やパソコンモニターにエラーが表示される。	プリンタのエラーランプの点滅回数、または液晶画面のエラー内容を確認してください。	点滅回数（エラー表示）が8回（廃インクの表示）の場合は、クリーニングや印刷中に排出される廃インク吸収体が満杯となる表示です。プリンタの取扱説明書またはサポート情報を参照して対処してください。インクをつめかえたこととは関係ありません。

サンワサプライ
つめかえインク サポートセンター
tel:0120-968-268
受付時間：月〜金（土・日・祝日をのぞく）
9:00〜12:00　13:00〜17:00
inksupport@sanwa.co.jp

※フリーアクセスには、050番号のIP電話からはつながりません。ご不便をおかけしますが、一般加入による固定電話、もしくは携帯電話からご利用くださいますよう、お願いいたします。

お願い
ご連絡を頂く際はパッケージ裏面に記載の品番をお知らせください。
INK-00000

岡山サプライセンター　岡山県岡山市北区田町1-10-1　TEL.086-223-3311
東京サプライセンター　東京都品川区南大井6-5-8　TEL.03-5763-0011
http://www.sanwa.co.jp/

10/07/JMDaki